

## 令和5年度第3回萩警察署協議会会議録

開催日時	令和6年2月19日（月） 午後2時から午後3時30分までの間	
開催場所	萩市大字土原476-1 萩警察署3階 講堂	
出席者	委員	内田委員、椋木委員、岩本委員、溝部委員、白松委員、山本委員 大田委員、榎谷委員  計 8名
	警察署	署長、副署長、警務課長、会計課長、生活安全課長、地域第一課長 地域第二課長、刑事課長、交通課長、警備課長  計 10名
議題	1 所管業務説明  2 交通事故抑止対策の推進	
<p><b>1 会長挨拶</b></p> <p>新年から能登半島地域において大地震が発生するなど、本年は大変な幕開けとなった。亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災した地域の方々が、一日でも早く平和で安全な日常生活に戻ることができるよう祈念している。</p> <p>萩警察署の方々に対しては、管内住民の安全で安心な生活を守っていただき感謝申し上げます。先日、萩警察署の新マスコットキャラクターが「つばきちゃん・なつおくん」に決定したと聞き、警察署の意気込みを感じたところである。</p> <p>前回はリモート会議で、画面越しではあったが、協議会委員同士、心のつながった良い協議ができたと思う。本日は、対面での会議であるので、忌憚のない意見をお願いしたい。</p> <p><b>2 署長挨拶</b> (省略)</p>		

### 3 所管業務説明（署長）

- (1) 令和6年山口県警察運営指針を踏まえた業務推進方針
- (2) 生活安全関係
  - 犯罪抑止対策上の指定犯罪等の認知状況
  - うそ電話詐欺被害防止対策の状況
- (3) 刑事関係
  - 刑法犯認知・検挙状況
  - 主な検挙事件
  - 薬物事犯の状況
- (4) 交通関係
  - 交通死亡事故発生状況
  - 人身交通事故の主な特徴
- (5) 前回諮問事項における提言への対応状況

### 4 諮問事項説明（交通課長）

「交通事故抑止対策の推進」をパワーポイントにより説明

### 5 協議・検討

#### （委員）

萩市内の小中学校を巡りながら児童等に対する交通指導を行う中で、横断歩道や横断歩道を示すひし形の路面表示が薄く、見えづらくなっている場所があることに気付く。児童に対する交通安全教育の中でも、横断歩道を通行することは基本であり、視認性の確保をお願いしたい。

交通安全教育の場において、子供から「なぜ、大人は横断歩道を渡るときに手を上げないのか。」と聞かれたことがあるが、何か良い指導方法はないか。

#### （交通課長）

植樹帯やガードレール等の障害物により、体が小さい子供たちはドライバーから見えづらく、子供たちの姿を周囲に認識してもらうため手を挙げるように指導している。また横断歩道を渡りたいという意思表示のためにも、ハンドサイン、つまり手を挙げる必要があると子供たちには伝えている。

大人も同様に、ハンドサインを行っていただきたい。

#### （委員）

高齢者の運転免許の返納に関して、高齢ドライバーの事故を減らす観点から、一定年齢での免許返納制度を設けてもよいのではないか。

また、カーブミラーの中には支柱の根元が腐っているものが見受けられ、実際に倒れているカーブミラーを見たこともあるので、カーブミラーの調査や点検も必要だと思う。

#### （委員）

子供たちの見守りをしていた際、車側の信号機が赤になり横断歩道を渡ろうと

したところ、車が目の前を通り過ぎ、慌てて後ずさりしたことがある。おそらく朝日がまぶしく、信号が見えなかったのだと思うが、子供たちに対しては、左右をしっかりと見て車が止まったことを確認してから渡るように指導していきたいと感じた。

**(委員)**

交通事故は、当事者双方の不注意や自己中心的な運転により発生するものだと認識し、皆が慎重な運転を心がければ事故は防げると思う。歩行者は車の運転手を完全に信用するのではなく、車は走る凶器であり危険なものであるという認識を持つこと、自分の身は自分で守るという意識付けを行うことが重要である。

**(委員)**

阿武町では、店舗の減少により、普段の買い物にも不便を感じる人が多い中、福賀地区を始めとした町内3地区では、免許を返納した高齢者などが日々の生活に困らないよう、新しい交通の形、デマンド型交通を立ち上げた。しかしながら、公共交通機関との兼ね合いから、町内だけの運行となっており、病院への通院などで萩市内まで行く必要がある方には、まだまだ不便であり十分ではない。自分の好きなときに好きな場所へ行けなければ生活に張りもなくなると思うので、高齢であることを理由に免許返納を迫ることは、特に交通の不便な山間地域では難しいと思う。

交通事故に関する痛ましいニュースに接すると、高齢者の免許返納を促進する必要性を感じる一方、生活のために車を必要としている高齢者がいることも現実であり、そのような現状を踏まえ、警察には高齢者に対する運転の指導、交通教室等を開催していただきたい。

**(委員)**

横断歩道はアスファルトに白い塗料で引かれているが、都市部では見やすいように白と緑の塗料で表示されているところもあり、これは分かりやすくてよいと思う。

小学生には、車道を横断しない通学ルートを推奨しており、横断歩道を渡らなければならない場所には、重点的に見守り隊や交通安全協会員に警戒してもらっているところである。

車の運転マナーの向上については、ある会社の経営者から、社用車への車載カメラの設置により運転手の意識やマナーに変化が現れ、事故が減少したと聞いたことがある。車載カメラの設置補助があれば、安全運転の促進や交通事故防止に寄与できるのではないか。

**(委員)**

一般的にはハイビームが推奨されているが、ロービームへの切り替えを忘れる方もいるので、使い分けの必要性を周知していただきたい。

車の運転に際しては、他車の動きを予測する必要があるが、特に高齢者の中には、突然、脇道から道路に進入する方もいることを頭に入れておいた方がよいと思う。

**(委員)**

車線が少ない道路や幅員が狭い道路では、近くに横断歩道があっても利用しない方がいるので、マナーの向上が必要だと感じる。

横断歩道手前や交差点等の消えかかった停止線について、規制の効果が上がるように塗り替えをお願いしたい。

**(委員)**

萩高校と萩商工高校は、令和6年度からヘルメットの着用が義務化されると聞いている。

小中学校については、以前から学校の指導により登下校時にはヘルメットを着用しているが、休日はヘルメットを着用しない児童生徒がいると思うので、気付いた際には警察からも注意、指導をお願いします。

**6 配付資料**

令和5年度第3回萩警察署協議会資料（警察署作成）

令和6年度警察官募集・採用試験の案内

**7 その他**

令和6年度第1回目の会議は、6月頃開催の予定とした。